

ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり



おおひら

アシストネットだより

～未来を担う栃木市の子どもたちを地域ぐるみで育てよう～

栃木市では、子どもたちは次世代を担う地域の宝であるとの認識のもと、子どもたちの「生きる力」を育むために、学校・家庭・地域の連携・協力により『アシストネット事業』を展開し、地域ぐるみで子育てを推進しています。今年度の取組については、以下のとおりです。

大平東小学校

【生け花体験アシストネット】



6年生が生け花の体験を行いました。講師は地域コーディネーターを通して紹介していただいた文化マイスターの方々。どう生けると自分の思いが伝わるのか、子どもたちは真剣な面持ちで取り組んでいました。

大平南小学校

【総合的な学習の時間の授業支援】



「田村律之助顕彰会」の方々に、6年生の総合的な学習の時間の授業支援をしていただきました。本校の卒業生であり、「ビール麦の父」と呼ばれた田村律之助の功績や律之助顕彰会の活動、更に昨年度の6年生の学習の様子等をご紹介していただき、貴重な資料に実際に触れることができました。

大平西小学校

【ふるさとの田畑で米や野菜を育てよう】



富七、西山田環境保全会の皆様の協力を得て、太平山の麓の田畑で、サツマイモ等の野菜（1～4、6年生）、米（5年生）作りの体験活動を行いました。米作りは本校の伝統行事として長年行っていますが、今年度はサツマイモの収穫を初の試みとして行いました。

大平中央小学校

【ミシンボランティア】



6年生が家庭科の学習でミシンを使ってトーバッグ作りをしました。ミシンの操作の仕方等について、ボランティアさんに丁寧に教えていただきました。アドバイスをいただけたことで安心して製作ができました

大平中学校

【落ち葉ボランティア】



12月9日(土)、天候に恵まれた中、落ち葉ボランティアが行われました。PTA、教職員、生徒と一緒に活動し、たくさんの落ち葉を集めました。最後には落ち葉で焼いた焼き芋を食べました。

大平南中学校

【みなみ祭(学校祭)アシストネット】



開校40周年記念として、本年度はアシストネットのボランティアの方にみなみ祭での出し物の講師として協力いただきました。

写真は神田囃子(新地区にある伝統のお囃子)の練習風景です。生徒たちが地域の伝統芸能を学ぶ良いきっかけになりました。

【大平アシストネット地域教育協議会】

大平地域では年間2回(6月、1月)大平アシストネット地域教育協議会を開催しています。この会議では、栃木市生涯学習課の「とちぎ未来アシストネット事業」に基づいた各学校の取り組みや成果、課題等について話し合います。

今年度はコロナも5類に移行して多くのボランティア活動が再開され、授業支援や子どもの見守り、学校行事等の支援など多くの場面で学校と地域の結びつきが見られました。

これらのボランティア活動が地域活性化と教員の負担軽減に大きな影響を与えています。



ボランティア募集

子どもたちの学びを豊かにする学校でのボランティア活動に興味のある方は、大平公民館までお問い合わせください。

【大平地域アシストネット教育協議会事務局】

栃木市地域振興部大平地域づくり推進課公民館係(大平公民館)

0282-43-5231